

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 株式会社 大真空
 コード番号 6962 URL <http://www.kds.info>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 長谷川 宗平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括 (氏名) 石井 孝利
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 大

TEL 079-426-3211

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	9,699	—	728	—	1,123	—	795	—
20年3月期第1四半期	9,915	1.2	1,040	34.7	1,224	94.9	1,022	170.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	18.64	—
20年3月期第1四半期	23.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	57,260	—	37,538	—	59.5	—	798.91	—
20年3月期	60,707	—	38,084	—	56.9	—	809.80	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 34,094百万円 20年3月期 34,563百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	20,500	—	2,000	—	1,770	—	1,200	—	28.11
通期	43,000	2.5	4,300	△3.6	3,900	16.2	2,730	56.1	63.96

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 45,246,212株 20年3月期 45,246,212株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 2,570,343株 20年3月期 2,564,279株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 42,678,631株 20年3月期第1四半期 43,227,523株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、サブプライム問題に端を発する金融市場の混乱の一時的な悪化には歯止めがかかったものの、企業収益の鈍化による設備投資の停滞や、原油価格や原材料価格の高騰により個人消費が伸び悩み、景気の減速感が強まっております。

このような環境の中、携帯電話をはじめとするモバイル機器の小型化や多機能化、車における電装化の進展などに対応して、小型・高機能・高精度・高信頼性をキーワードに、業績の向上に努めました。しかしながら、年明け以降のマーケット調整や対米ドルが前年同期に対して大幅な円高水準になったことなどが影響し、当第1四半期の連結売上高は9,699百万円（前年同期比2.2%減）となりました。また、利益につきましては同期間において円安傾向に推移したことにより営業外収益に474百万円の為替差益を計上いたしましたが、前年同期に対しての為替変動の影響が大きく、営業利益728百万円（前年同期比29.9%減）、経常利益1,123百万円（前年同期比8.2%減）、四半期純利益795百万円（前年同期比22.2%減）の減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末と比較して3,447百万円減少し、57,260百万円となりました。売掛金、機械装置の減少が主な要因となっております。

負債合計は、前期末に比べ2,900百万円減少し、19,722百万円となりました。買掛金の減少などによるものであります。

純資産合計は、前期末に比べ546百万円減少し、37,538百万円となりました。四半期純利益795百万円により利益剰余金が増加しましたが、為替換算調整勘定が減少したため、純資産が減少しております。

自己資本比率は、前期末に比べ2.6ポイント増加し、59.5%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、原材料価格の変動や世界経済の動向など景況に不透明感もあり、現時点において当社業績に与える影響を想定することが困難なため、平成20年5月15日発表の業績予想は変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用等の計上基準など、一部の処理については簡便的な方法を採用しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用しております。これによる売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(追加情報)

① 有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正を契機として、資産の利用状況を見直した結果、当連結会計年度より、改正後の法人税法に基づく減価償却方法を適用しております。これにより、売上総利益は26,986千円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ30,213千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

② 役員退職慰労引当金の変更

当社は平成20年6月27日開催の第45回定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止を決議しました。役員退職慰労金制度の廃止決議までに計上された金額は、当該役員の退職時に支払うこととされており、残高226,127千円を固定負債「長期未払金」に振替えております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,222,005	7,799,909
受取手形及び売掛金	9,697,237	11,130,889
有価証券	1,661,420	854,301
商品	2,832,721	2,506,333
製品	1,112,729	1,279,604
原材料	1,581,530	1,651,292
仕掛品	2,881,194	2,900,266
貯蔵品	296,312	327,031
繰延税金資産	76,155	70,040
その他	929,675	1,500,197
貸倒引当金	△58,025	△70,564
流動資産合計	28,232,957	29,949,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,293,106	6,674,698
機械装置及び運搬具	12,450,531	13,750,405
工具、器具及び備品	1,625,230	1,746,294
土地	5,649,716	5,693,216
建設仮勘定	246,077	167,880
有形固定資産合計	26,264,663	28,032,496
無形固定資産		
のれん	206,528	228,263
その他	215,890	230,329
無形固定資産合計	422,419	458,592
投資その他の資産		
投資有価証券	1,747,871	1,625,095
長期貸付金	1,627	1,942
繰延税金資産	7,535	8,140
その他	774,327	823,506
貸倒引当金	△191,072	△191,125
投資その他の資産合計	2,340,289	2,267,560
固定資産合計	29,027,372	30,758,649
資産合計	57,260,329	60,707,951

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,976,926	3,367,494
短期借入金	3,374,279	3,410,074
1年内返済予定の長期借入金	1,629,743	2,004,196
1年内償還予定の社債	2,100,000	2,100,000
未払金	1,173,281	1,285,412
未払法人税等	321,780	476,150
繰延税金負債	847	528
賞与引当金	257,845	577,322
役員賞与引当金	3,750	15,000
その他	1,053,155	1,064,970
流動負債合計	11,891,609	14,301,149
固定負債		
長期借入金	4,262,565	4,555,783
繰延税金負債	924,082	849,754
退職給付引当金	1,438,100	1,450,143
役員退職慰労引当金	—	221,371
長期未払金	1,017,895	1,056,816
その他	188,012	188,196
固定負債合計	7,830,655	8,322,066
負債合計	19,722,265	22,623,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,344,883	19,344,883
資本剰余金	12,422,743	12,422,728
利益剰余金	3,698,721	3,116,661
自己株式	△1,242,340	△1,239,283
株主資本合計	34,224,009	33,644,991
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	370,250	220,750
為替換算調整勘定	△500,252	698,140
評価・換算差額等合計	△130,001	918,890
少数株主持分	3,444,057	3,520,853
純資産合計	37,538,064	38,084,735
負債純資産合計	57,260,329	60,707,951

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	9,699,646
売上原価	7,264,864
売上総利益	2,434,782
販売費及び一般管理費	1,705,852
営業利益	728,929
営業外収益	
受取利息	24,834
受取配当金	15,806
為替差益	474,008
その他	43,357
営業外収益合計	558,006
営業外費用	
支払利息	99,837
その他	63,350
営業外費用合計	163,188
経常利益	1,123,747
特別利益	
固定資産売却益	1,349
貸倒引当金戻入額	5,504
特別利益合計	6,854
特別損失	
固定資産除却損	3,412
投資有価証券評価損	104,424
その他	200
特別損失合計	108,037
税金等調整前四半期純利益	1,022,564
法人税、住民税及び事業税	94,775
法人税等調整額	34,426
法人税等合計	129,201
少数株主利益	97,893
四半期純利益	795,469

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,022,564
減価償却費	838,779
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△317,361
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,250
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,867
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△221,371
受取利息及び受取配当金	△40,640
支払利息	99,837
投資有価証券評価損益 (△は益)	104,424
売上債権の増減額 (△は増加)	1,177,339
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△233,739
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,400,093
その他	259,268
小計	1,284,626
利息及び配当金の受取額	38,323
利息の支払額	△110,393
法人税等の支払額	△198,401
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,014,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△435,528
有形固定資産の売却による収入	81,485
その他	4,607
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349,434
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	146,260
長期借入れによる収入	166,500
長期借入金の返済による支出	△532,158
配当金の支払額	△213,694
少数株主からの払込みによる収入	416
自己株式の取得による支出	△3,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,314
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	190,687
現金及び現金同等物の期首残高	8,167,846
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,358,533

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）において、水晶製品事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I 売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,406,544	488,983	5,309,663	494,456	9,699,646	—	9,699,646
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,423,046	—	3,037,118	—	7,460,165	(7,460,165)	—
計	7,829,590	488,983	8,346,781	494,456	17,159,811	(7,460,165)	9,699,646
営業費用	7,294,153	485,331	7,840,205	504,980	16,124,671	(7,153,954)	8,970,717
営業利益又は 営業損失(△)	535,437	3,651	506,575	(10,524)	1,035,140	(306,211)	728,929

【定性的情報・財務諸表等】「4. その他 (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（追加情報）」に記載の通り、当社及び国内連結子会社は、減価償却資産の耐用年数等に関する平成20年度法人税法の改正を契機として、資産の利用状況を見直した結果、当連結会計年度より、改正後の法人税法に基づく減価償却方法を適用しております。この結果、「日本」において営業利益が30,213千円減少しております。

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………ドイツ

(2) アジア………香港、シンガポール、中国、インドネシア、台湾、タイ

(3) 北米……………米国

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）

	欧州	アジア	北米	計
I 海外売上高(千円)	480,235	5,596,169	497,215	6,573,619
II 連結売上高(千円)	—	—	—	9,699,646
III 連結売上高に占める海外 売上高の割合(%)	5.0	57.7	5.1	67.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州……………ドイツ

(2) アジア………香港、シンガポール、中国、台湾

(3) 北米……………米国

3 海外売上高は、当社グループ（当社及び連結子会社）の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	9,915,852
II 売上原価	7,157,520
売上総利益	2,758,332
III 販売費及び一般管理費	1,718,147
営業利益	1,040,185
IV 営業外収益	527,306
V 営業外費用	343,400
経常利益	1,224,091
VI 特別利益	5,167
VII 特別損失	5,888
税金等調整前四半期純利益	1,223,370
法人税、住民税及び事業税	98,943
法人税等調整額	5,216
少数株主利益	96,615
四半期純利益	1,022,594